

【主な内容】

- 2… 座談会=市民レベルの国際交流を展開
- 7… 格差社会を考える①=サラ金被害者は…
- 8… 北千里小学校統廃校問題の今
- 10… 吹田で見つけた沖縄県人、平和の語り部
- 11… イラクのイサーラちゃんを救おう
- 12… 戦火に散ったアスリート=関大陸上部
- 13… いわみせいじのヨコシマ日記②
- 14… 岩国住民投票、国の押しつけ「ノー」87%
- 16… うめかも移転問題、4月臨時市議会に注目



画・高宮康子

阪急豊津駅かいわい。古くからの飲食店や新しくできたスーパーなどが混在。千里線に乗って家路につく時、「ちょっと降りて一杯」という雰囲気のある駅。

●表紙のことは

阪急千里線といえば、天神橋筋6丁目から北千里に至る全長13.6キロの、吹田市民にとっては一番なじみの深い電車であるが、今回はそのほぼ真ん中に位置する豊津駅について。

「北大阪電鉄が最初に建設し、営業を開始した路線は、十三～淡路～豊津間で、大正10年4月のこと。開業当時、畑や竹ヤブの中を走るこの電車に乗る客はわずかであったが、十三、淡路方面から豊津へ参りに出かける人々には結構利用され、一名「お参り電車」と呼ばれていたらしい（「阪急電車めぐり」より）。つまり開業当時、この豊津駅は終着駅だった。

やがて淡路から線路を分岐させ、淀川を越えて天神橋（現・夫六）まで開通した時には、「北大阪電鉄」は「新京阪鉄道」に合併されていた。年配の方なら懐かしいと感じられるかもしれないが、千里線は「新京阪」と呼ばれていた時期があったのだ。

今でこそ、豊津駅周辺は完全に開発されてしまったが、「このあたりは当初、「花壇前住宅」として売り出されたが、あまり売れず、荒れ果てた状態になっていた。昭和13年、千里山遊園の拡張を機に、改修整備され、「千里山豊勝邸宅地」というラックスな名前にして売り出したところ、この企画は当たって瞬く間に売りとくされてしまった」（阪急電車めぐり）そうだ。

豊津駅の下を流れるのは糸田川。水源地が開発され、下水が完備し、普段はチヨロチヨロしか水が流れない「枯れ川」のようだが、かつてこの川は「暴れ川」だった。駅前の交番に糸田川の改修工事についての石碑が建っている。この交番、1951年「吹田事件」の際には、朝鮮戦争に反対し、平和を求めるアモ隊に「襲撃」された歴史を持つ。80年以上にわたって人々の生活を眺めてきた豊津駅。さて今後はどんな歴史を刻んでいくのだろうか。

「国際交流」って ホンマは 何することですか

SUITA
市民しんぶん
座談会

日本と中国との関係は、よく「政冷経熱」と言われます。中国や韓国との「国民レベル」の交流が進み、経済的には互いに大きく影響を与え合っているのに、小泉首相の靖国神社参拝と、それに続く中国・韓国政府の猛反発に見られるように、政治的には冷たい関係が続いているようです。21世紀は間違いなく国際化の時代。互いの文化を理解し、認め合って共存することが求められています。「みんながってみんないい」。そんな国際的な理解が進めばいいですね。

岩根 小泉政権の5年間を振り返って見ますと、日本がアメリカにますます追従する一方で、中国や韓国など東アジア諸国との関係が急速に冷え切っていく、そんな外交を繰り返してきたように思います。本来は、「日米関係一辺倒」ではなく、等距離外交といえますか、多文化・多民族共生の社会にふさわしい政治であってほしいと思います。今回のゲストは、来日されたばかりで、日本語がしゃべれない外国人の子どもを、吹田の学校現場でサポートしているお二人をお招きしました。お二人とも単なる通訳ではなくて、草の根から国際理解を深めていこうという活動に



小谷 恭子さん
ジョイフル・イングリッシュクラブ代表。吹田市国際交流協会理事。吹田市通訳者派遣事業協力者。



辛 善 恵さん
吹田市通訳者派遣事業協力者。韓国語通訳。



岩根 良さん
吹田市職員労働組合執行委員長。吹田市国際交流協会理事。

携わっておられます。まず最初に普段の活動紹介を。
辛 私がやっている主な仕事は、正式には「吹田市通訳者派遣事業」と言いますが、仕事や国際結婚などで、両親に連れ添われてやってきた韓国の子どもたちが、日本の学校に入学または転校したときに、子どもは日本語が分からないし、先生は韓国語をしゃべれないので、私が子どものそばに付いて通訳をするのです。教育委員会から依頼されて、はじめは週に2〜3回、子どもが少し日本語に慣れてきたら週に1回1日2時間の授業を受け持ちます。
小谷 私は英語を担当していますので、アメリカなど英語を母語と

している子どもたちのサポートです。
岩根 辛さんは日本に来て何年で
すか？

「国際理解」の
大切さを肌で
感じるようになって

辛 26年になります。夫の仕事の都合で来日しました。最初は「2年で韓国に帰れる」と聞いていたのですが…(笑)。3人の娘は、「日本に行かないとダメ」と分かったときは泣いて泣いて…。最初は娘たちを民族学校に通わせようと思ったのですが、夫が「日本の学校に通って日本人の友人を増やすべきだ」という意見でしたので日本の学校へ。当時はまだまだ韓国人に対する差別意識が強くて、本名を名乗らない方も多かったです。先生がすぐにサポートしてくれたので、すぐに治まりましたが、うちの娘もいろいろ言われました。韓国人と日本人が結婚するときなども、反対の意見が多く出たりして、私は悲しい話を一杯知っています。自分自身の経験や娘の問題を通して「国際理解の重要性」を肌で感



英語圏の国々からやって来た子どもたちに絵本の読み聞かせをする小谷さん

じてきた26年でした。

岩根 私も高校時代の友人の結婚式で、ずっと日本人だと思っていた彼が、在日韓国人だと分かってビックリした経験があります。人には言えない悩みや遠慮があったんだろな、と感じました。今でこそ「韓流ブーム」で韓国ドラマは大人気です。韓国や朝鮮の方々の偏見が薄れて、相互理解が進んだように思いますが…。

辛 今はありませんが、日本に来た当時は「韓国から来ました」と

自己紹介したら、ある奥さんが「韓国って北ですか、南ですか?」と聞くのです。あなた社会の時間、寝てたの? (笑) って思いましたが、日本での生活が長くなるにつれ、「日本では歴史教育、特に近代・現代史を飛ばしているから知らない人が多いんだ」と原因が分かってきました。逆に韓国の中には本当の日本人の姿を知らない人が多い。

国で仕切られず 「地球市民」として 生きていきたい

岩根 日本は現代史、特に侵略戦争についてあいまいにする傾向があつて、日韓の歴史を教えるもらっていない、知らされていない人が多いんでしよう。かつて朝鮮半島をはじめ侵略・支配し、そのもとでつくりだされてきた差別意識は「本当の歴史を知らされていない」ことで助長されてきたのだと感じます。

辛 ある韓国の留学生在が「韓国では植民地時代の勉強をやり過ぎ。日本はやらなさ過ぎ」と言っていました。小谷さんがこうした活動に

入るきっかけは何だったのですか? 小谷 私はもともと「ジョイフル・イングリッシュクラブ」(JEC)に加入していました、そのJECのモットーが「国際理解を深め、互いの文化や違いを認め合う子どもたちを育成する」というものだったので。国際理解というと、どうしても文字どおりに「外国人と日本人が理解しあう」とこと捉えがちですが、実はもっと大きくて「人は国で仕切られるのではなく、同じ「地球市民」として生きていくべきである」という考え方なんです。その感覚を子どもの頃から養ってほしいと、2泊3日の青少年キャンプに取り組んできたのです。86年からはじめたこのキャンプ、99年には国際交流協会との共催となり、その後吹田市の賛同を得て、今年も少年自然の家が加わり4者共催になりました。昨年のテーマは「地球温暖化」。今年は「食育」です。

岩根 「地球温暖化」は国境を越えた問題ですし、「食育」では、私たちはさまざまな輸入食品を食べていますからね。

小谷 そうです、世界は食べ物を通じて相互依存しているじゃないですか。色んな国に協力してもらって日本の食生活がある。同時に

「豊かな食事って何だろう」という問題提起も。家族そろって食べることができるのか、手間隙かけた母親の手料理、自然の恵み、地域で採れた手作りのもの…。そんな食事をしながら、チュニジア、イタリア、ウイグル自治区、ロシアなど8カ国の方々と一緒に寝泊りするのです。

岩根 楽しくて、考えさせられるキャンプになりそうですね。小谷さんはこうした活動の他に昨年「草の根国際交流の会」を始められましたね。

小谷 吹田市には大学がたくさんあるでしょ。だから留学生も多いし、国際結婚も増えていて外国人は増える一方です。そんな人たちのために日本語の支援をしようと、自主的なボランティアグループが結構あります。市内の各地で活動する、そのようなグループの横のつながり、ネットワークを作りたいと考えて「草の根国際交流の会」を始めました。「テキストはこんなのがあるよ」などの情報交換ですね。でも情報交換だけでは寂しいので、もっと主体的に国際理解を深める活動を広げて行きたいと思っています。

岩根 情報はいま、非常にオープンになっていますが、その環境を

多文化交流が進む一面、「愛国心」の強要など 「戦前回帰」の流れもあり、予断を許さない状況です(岩根)

生かして、さらに国際理解を深めるためには何が求められているのでしょうか？

小谷 日本の学校教育の中で「議論すること」ってあまりやらないじゃないですか。多くの子どもが自分の意見を発表するのは苦手。議論がなければ先に進まないものです。先ほどの歴史教育でも、教

えてもらうこともなく、日本人が巻き込まれた戦争について、意見を交換するわけでもない。世界各国の学生を集めてディスカッションするテレビ番組で、日本の女子学生が「戦後60年も経ったわけだし、歴史の負の部分を取り返るのは、もうこれくらいにしておいて、もつと未来を見つめたほうがいい」という発言がありました。するとすかさず韓国の学生が「ではあなたはヒロシマ・ナガサキの原爆も忘れるのですか？」と切り返していました。私たちは決してヒロシマ・ナガサキの原爆を忘れること

はできません。そんな負の部分まで真剣に議論した経験がないから、なかなか済ませようとする。

岩根 同じ敗戦国であつてもドイツは徹底した歴史の反省を行い、若者に対する歴史教育も熱心です。それに比べれば日本はまだまだ立ち遅れていますね。

小谷 面白い授業を受けたことがあります。ある国の学校(フランスとは言わなかった)でムスリムの女子学生がスカーフをして授業を受けていた。先生は「宗教の自由は守ります。でもクラスの中では特別な宗教に肩入れするわけには行きません。スカーフを脱ぎなさい」と命令した。さてあなたはこの先生の対応についてどう考えますか、という内容です。人権の観点からは、人には信教の自由があるから、スカーフを取る必要はないと考えます。しかしジェンダーフリーの考え方から言えば、「なぜ女性だけスカーフを着用せねばならないのか」

という問題が残ります。現実には色んな文化が混ざり合った中で、生活していくわけですからこのような摩擦が起こるのです。そんな中で私たちはその文化の違いにどのように折り合つてうまくやっていけるか、だと思います。

「違う」から排除より
「違った文化」として
受け入れたい

岩根 私たちはややもすると、ステレオタイプで考えがちですね。韓国人はこんなタイプ、アラブ人は、アメリカ人は…と。でも実際には何人であつても、色んな性格、考え方があつて人それぞれ違う。小谷 典型的なのが血液型占いですね。日本人は「型にはめて」考えたのか、タイプ別に分類すると安心するのか…。

辛 韓国では「A型の性格は…」などとは言いませんね。日本に来てビックリしたのは「星座が、血液型が」(笑)と、たくさんの人が話していたことです。

小谷 例えば吹田の姉妹都市であるオーストラリアのバンクスタウンから多くの方々をホームステイ

で受け入れるとします。受け入れ家族は、ただその人一人を見て「あー、オーストラリア人はこうなんだ」と理解しがち。でも陽気なオージーもいれば無口な方もいる。人それぞれですよ。

辛 日本人でもいい人、悪い人がある。韓国でも、アメリカでもそう。「何人だから…」という発想でくくれるわけがありません。例えば韓国でも正月にお年玉を渡すのですが、日本は新札でポチ袋に入れて渡す。韓国では袋に入れないでそのまま古いお札を手渡す。どちらがいい悪いではなく、昔からの習慣なのです。地面に座つて手で食べる文化を「汚い」と捉えるのではなく、「違った文化」として捉えるべきだと思います。

岩根 異文化に触れ合ったときに、自分の基準で解釈して「良い、悪い」ではなく、違ったものを違つたまま、まず受け入れてみる必要があるのです。先ほどのスカーフの話でも、脱ぐか脱がないかという個人の選択と、「女性はスカーフを巻くもの」という文化を受け入れることが可能な社会かどうか、その成熟度が問われているでしょう。

その意味で、例えば石原東京都知事などは、いまだに中国人のこ



外国人がくらしやすい日本になれば 日本人もくらしやすくなるのでは(小谷)

民族衣装を着る、ハンゲルで名前を書く、 そんな体験を通して文化の距離が縮まれば(辛)



とを「シナ人」と呼んだりします。異文化を認めずに、「日本が一番」といったおごりを感じます。辛 うちの娘3人が韓国に帰国したとき、列車の中でついうっかり日本語をしゃべってしまった。すると離れて座っているおじいさんが飛んできて、「お前たちは韓国人のくせに、なぜ日本語をしゃべるのか」と怒られたのです。おじいさんには植民地時代に日本に対する大変つらい経験があつて、

ついそんな怒りが出たのでしょう。岩根 でもおじいさんと知事では立場が違いますね。少なくとも政治家や知事という要職についた公人が発する言葉ではない。だから全国からあの種の発言に対しては抗議の声が出てきます。しかし一方で、石原知事の人気は高い。多民族多文化交流が一方で進みながら、新しいナショナルリズムというか、「日本は世界に誇れる国になるべき」「愛国心が必要」など「戦

前回帰」の流れもあつて、状況は予断を許さないと感じます。

「あわてず、めへり
落はひらひ考えん」
わかりあいたい

小谷 少数の外国人が生活しやすい国になれば、多数である日本人はもつと生活しやすくなるのではないでしょうか。多数の人が守るルールの中に違うルールが入ってきたとき、それを排除するのではなく、柔軟に対応して、双方が納得できるような解決策を出す知恵が必要です。そうした柔軟性や知恵は教育の中で培っていかねばなりません。そういう意味ではクラスに異文化の子どもが入ってきたときはチャンスです。乗り越えられる違いと乗り越えられない違いがある。そんな摩擦をどう解決していくか。

辛 最近ほ外国の子どもが転校して来ることが多くなって、子どもが帰宅したときに「うちのクラスに○○人が来たよ」と報告します。そんな時大人が何気なく言った言葉が子どもに影響するんです。「○

○人はこうなんだよ」と学校で言う。言われた方も言った方も不幸です。だから私は子どもを前にして大人が無責任な発言をすることは絶対やめてほしいです。

岩根 まんが原作者の大塚英志さんが毎年子どもたちに宿題を出すんです。「あなたの書いた『日本国憲法前文』を募集します」と。4年前の第1回目に共感を得た「前文」は「全くもってタイシタコトのない世界的にみてソコソコの国がいい。立派な国にしていこう！とか言うけど立派だからいいなんていつたい誰が決めたんだか」というもの。2005年は「安心・安全の国。犯罪の少ない国になろう」など危機意識をもつものも多かった。これなどは大人社会の影響がもろに出ていますね。自分たちの「小さな世界」を守るために、怪しい人を排除する街につながります。9・11テロの時、イスラム教徒は怪しい、と排除していききました。ペル1人が犯罪を犯したときも「外国人労働者を取り締められ」と。

辛 中国人の母親が幼稚園の送迎中に、わが子の友人を殺害する事件が起こったときは、日本のマスコミでは「中国人妻」という報道であふれていました。私は多くの国際結婚した人を知っていますが、



「韓国のお正月はこうにして過ごしています」。韓国文化を子どもたちに紹介する辛さん

中国の方は大変だっただろうな、と心配していました。

岩根 それで2005年度の「私たちが書いた憲法前文」の巻頭にとりあげられた「前文」は、「落ち着けばいい。ゆつくりと考えればいい。急がなくても、落ち着いて、ゆつくりと、みんな一緒に、考えれば、あっているか、あっていないか分かりあえる。だからみんな、落ち着いて。」という小学校6年生の「僕の憲法前文」だったんです。ステレオタイプで型にはめて考えれば間違えることが多い。大人の言葉を鵜呑みにしてもダメ。だから「ゆつくり考えよう。みんな落ち着いて」だったのですね。

小谷 私は英語圏の子どもを担当しているので、「うちのクラスにアメリカ人が来たんだよ」と子どもが報告すると、父母は「良かったわね」という反応が多いんです。日本人は白人に対してまだコンプレックスがある人が多いからでしょうね。もちろん「生きた英語を勉強できる」という意味で歓迎する気持ちもあるのですが、でも同じ英語をしゃべる子どもでも肌の色が違えばどうなるでしょうか？先日アフリカから来た子どもがいじめに遭って相談に乗りました。白人と有色人種、さて私たちの中でどのように見ているのでしょうか。答えはまだ出ていません。常に疑問に感じています。

辛 韓流ブームがあっても、まだ「何で日本に来たんだ」「自分の国に帰れ」などと言われて、「日本はいやや」と泣く子どもがいまいた。私は学校で韓国の文化を紹介するときに、必ず民族衣装とトウモロコシのお茶を持参します。

子どもたちは韓服を喜んで着ます。そしてハングル文字で自分の名前を書かせて、授業の最後にトウモロコシ茶を沸かしてみんなで飲むのです。そんな体験を通して日本の子どもと韓国の子どもの距離が縮まればいいと思います。岩根 私たちは市役所で働いてい

国際交流イコール
英語を話す
ではないんです

ます。お二人の話を伺って、逆に私たちこそ、国際理解の精神で仕事に当たらねばならないと感じました。物事を固定的に捉えないで、色んな角度から見ること大事です。し、外国人とどう付き合うかではなく、吹田に住んでいる同じ市民として、互いにどのよう働き、生活していくかが問われているのです。最後に一言ずつどうぞ。小谷 今年の秋に国際交流教会

で「第2回国際理解講座」を開催します。国際というと外国人の話でしょ、関係ない、などと思わずに、日本人の間でも違いはあるし、夫婦の間も同じではありません。ぜひたくさんの方々に参加いただいて、より良く生きるための新たな気づきを獲得していただきたいと思います。

辛 国際交流協会が主催する行事というところ、何か「英語がしゃべれなければ参加できない」と考えがちですが、そんなことはありません。ぜひ気軽に南千里の国際交流協会を訪れてください。

小谷 今の場所は4階でエレベーターもなく、バリアフリーではありません。市民のみなさんが気軽に来ただけのように、ぜひ南千里駅前再開発の際には分かりやすく、行きやすい場所に移動させてほしいと思います。

岩根 最後に大変具体的な要望が出たところで(笑)、今月の座談会を終わっていきなさいと思います。本日はどうもありがとうございました。

●●●同じ「すいた市民」としてどのよう
に生き、くらししていくかが問われている●●●

私の家を返して!

どうする?
アイフル!



自分やサラ金業者から借りていたお金を
アイフルがまとめて払いやすくしてくれるというので、
私の家を返して、自分はアイフルから
900万円借り入れた。
でも、高金利の支払いでずっと自己破産の準備を
しながら返してしまっていました。

私たちは、アイフルのこのような商法を許しません!

高金利で借つづつ、少しでも返れると甘い取引をするアイフル
業者のせいでつづつ、平気でサラ金ローンで借金しないようには高額の返済をして家土地を返すアイフル
業者の支払いで苦しんでいる人々を救済するためにアイフル業者を倒産させることを目指して、
過去の取引の記録を調査しようというアイフル

アイフルの被害にあった方はこの一冊を!

アイフル被害対策会議 097-535-1116

私たちは、アイフルのこのような商法を許しません!
高金利で借つづつ、少しでも返れると甘い取引をするアイフル業者のせいでつづつ、平気でサラ金ローンで借金しないようには高額の返済をして家土地を返すアイフル業者の支払いで苦しんでいる人々を救済するためにアイフル業者を倒産させることを目指して、過去の取引の記録を調査しようというアイフル

サラ金への規制甘い小泉内閣 「国民生活をぶっ壊した」5年間

「国民生活をぶっ壊した」5年間
小泉内閣の5年間は「自民党をぶっ壊す」どころか、「国民生活をぶっ壊した」5年間ではなかっただろうか。

親身の相談「さざなみの会」

クレジット・サラ金被害者に

大企業もリストラの名のもとに正社員を解雇し、賃金の安いパート・派遣労働者に切り替えていった。国民の多くが「負け組」として失業や倒産などの憂き目に会う中、サラ金・クレジット業界は空前の利益を上げてきた「勝ち組」産業だ。それもそのはず、サラ金業界は銀行から2%

中村清志さん(56歳・仮名)は、吹田で長年飲食店を経営してきた。昭和60年に江坂でカフェ・バーをオープンさせた頃が絶頂期だった。事業は順風満帆に見えた。そして、お好み焼き屋を開店し、当時流行していた「ピザ宅配」を真似た「お好み焼きの宅配」が当たった。やがて1店舗、2店舗と事業は拡大していった。

1枚のチラシが入った。裏にもすがる思いで吹田民主商工会を訪れた。「いったん契約した借金であっても、交渉で金利を下げさせることは可能です」「全部返そうとしなくてもいいんです。最低限の生活分は確保し、払える分だけ返せばOK」。相談員が発する言葉は、今までの常識を覆すものだった。中村さん自身も勉強した。特定調停とは? 利息制限法とは? 自ら裁判所へ出向き、調停委員を挟んで相手方(業者)と対等に向き合った。その結果。

誰がこの母親を責めることができるだろうか? 今の政治が、もう少し「弱者に優しい」ものであるならば、ヤミ金を取り締まり、サラ金・クレジット会社が市民に貸し出す金利を低く抑えるだろう。しかし、政府はそうしたサラ金業界へ規制をかけようとはしない。それは「銀行やサラ金業界から、多額の政治献金をもらっているからではないのか」という素朴な疑問が浮かぶ。

「どうする? アイフル」「黄色い看板プロミス」「ちやんとアコム」... テレビにあふれるサラ金や銀行ローンのCM。都心に出れば巨大な広告、街頭で配られるティッシュのほとんどがサラ金関係。
バブル崩壊後10年以上続いた不況の中、国民の税金が注入され、救済されていった大手銀行とは対照的に、多くの中小企業が「貸し渋り」「貸しはがし」で倒産していった。

以下の金利で資金調達をして、29%もの高利で貸し付ける。その金利差20数パーセントをまさに「濡れ手で粟」の吸血鬼商法ではないか。
「格差社会を考える」シリーズ第1回目は、クレジット・サラ金・商工ローンの被害者をなくす吹田市民の会「さざなみ」をレポートする。

融公庫、そして銀行のカードローン。一生懸命働いて売り上げた分は、ほとんど全て借金の返済に消えていった。「約2千万円もの借金を重ねてしまい、何が何でも経営を立て直さねば、と必死でした。売り上げの悪い店を閉めて、人件費をカット。最終的には妻とアルバイトのわずか3人で無理して働きました。しかし働いてもた。しかも働いても働いても借金は減らず、利息を払うために仕事をしているようでした」。

例え「どうする? アイフル」のCMでおなじみのサラ金は、多重債務者である息子の借金について「私たちがまとめて払いやすくしてあげる。ついでには自宅を担保に500万円を貸し付けてあげる」と母に接近。結局、息子は自己破産。母は自宅を取られてしまった。

北千里小学校廃校問題

え

多くの小学校がなくなるの!?

「えっ、僕の小学校がなくなるの?」04年3月、吹田市立北千里小学校の児童と父母の間に衝撃が走った。吹田市教育委員会から突然発表された北千里小学校の廃校方針。近隣の青山台小学校の児童数が極端に減少、「学校規模適正化」のために、北千里小学校を廃校し、青山台1丁目から通学

する子どもは、青山台小学校へ。古江台3丁目から通学する子どもは古江台小学校へ行きなさい、というもの。吹田市教委は①自治会など地域代表者、②青山、古江、北千里小学校PTA、③学校関係者の3者で「検討委員会」を立ち上げ、

この廃校問題を議論。9回にわたって「激論」が繰り返されたが、結局意見の一致を見ず、05年3月、検討委員会の個人意見書を報告書として教育長に提出した。吹田市が突然発表した「廃校案」で、結果とし



「廃校問題」で揺れる北千里小学校で、今年も入学式が行われた

て地域住民とPTAの間に亀裂を作ってしまった格好だ。廃校の結論も出ていない中、吹田市は今年の3月議会で、受け入れ校である青山台、古江台小学校の改修工事の予算を計上した。いったいどうなっているのか、現地からリポートする。

「学校の適正規模」

にこだわる理由は何?

「全く覆耳に水の話でした。最初にこの話が出てきたのが04年3月、わずか1年の間、つまり05年4月に廃校したい、という提案ですからね」と、望月和彦さん(北千里小学校保護者)は憤る。北千里小学校PTAが急ぎよ取り組んだ全校アンケートでは、廃校に賛成が14、反対は157世帯となり、圧倒的多数の家庭が反対を示した。

別表に示すように、北千里小学校は適正規模。青山台小学校は現在7クラスであるが、今回の「廃校案」を実施しても3〜4年後には適正規模である1〜2クラスを下回る可能性が高い。他に規模適正化案はあるのに、わざわざ北千里小学校を廃校にしてまで、「学校の適正

規模」にこだわる理由は何なのか?

ここに04年10月4日に開催された「青山台地区出陣市長室」の議事録がある。この中で阪口吹田市長は「北千里小学校の問題が解決すれば、地域の「ミニミニ」の施設も考えていきたい」と発言。つまり駅前二等地にある北千里小学校の敷地を「ミセンにしたい」という吹田市の思わくが見え隠れする。ちなみに市長の「ミニセン発言」は、廃校問題を議論する「検討委員会」が開かれる前になされており、多くの保護者には不信感だけが募ったという。

計画のこり押し

既成事実化はかる市長

「ところが今年の3月議会で、吹田市は受け入れ校になる青山台、古江台小学校の改修工事の予算を計上したのです。北千里小の廃校はまだ決まっています。これって「うめかも」と同じじゃないですか。子どもや保護者の意見も聞かずに、計画を勝手にこり押しして、既成事実化させたのだと思います」とは前田達夫さん(同小学校保護者)。



各小学校の規模 04年度における概況

学校名	児童数	学級数	学級規模	今後の見通し	校地面積
青山台小学校	183	6	30.5人	6~8	23441
北千里小学校	328	12	27.3人	12~14	19611
古江台小学校	343	12	28.6人	12	25068
藤白台小学校	866	24	36.1人	24~26	23719

性急な提案で 住民に分断も生じむ

「人口が減少し、高齢化を迎えているニュータウン。今後は学校現場単独で統廃合や校区変更などを決定するのではなく、大きな街づくりの視点の中で、決定していくべきだ」と北野理事は言う。

それはその通りだ。市役所には「ニュータウン再生室」というセクションもできた。でも大きな街づくりの視点が大事なら、極めて近視眼的な「1年後に廃校」という性急な提案をしたのはなぜか？結果として地域住民の中に亀裂を生じさせた市の責任は重く、最高責任者である市長が、廃校も決まっていけないのに「跡

「いついそぎも見たら」「うめかも現象」

地は「コミセン」と軽々しく発言する必要があったのだからだろうか？

「市長は政治家」であるなら、ちゃんと北千里小学校の子どもたちや保護者の声も聞いた提案は、やはり無茶だ。「何度

も面談を申し込んでいますが、市長はいまだに私たちに会おうとしない（前田・望月さん）。「ここでもうめかも現象」（市長は都合の悪い人とは会わない）が起こっている。

吹田市教育委員会 北野理事にきく



では当の吹田市教育委員会はこの問題をどう捉えているのだろうか？吹田市教委の北野理事にお話を伺った。

北千里小学校の廃校がまだ決定していないのに、どうして青山台小、古江台小の改修予算を組んだのですか？

北野 07年4月には廃校する、という提案ですから、どうしても今年の3月議会で予算提案をしなければ間に合わないのです。小学校の改修工事は夏休みしかできませんので。廃校という結論は出ていませんが、準備だけは整えておこうと。

今年度は検討委員会を開催するのですか？どこで結論を出すのですか？

北野 昨年度の検討委員会は紛糾続きで、結局、地域住民のみなさまの中に亀裂を残した結果となりました。吹田市教委として責任を感じています。もし今年度も検討委員会を開催しますと、同じ結果を招くと思いますので、検討委員会は控えておこうと思っています。

では、どこで決定するのですか？

北野 基本的には市民のみなさまの代表である吹田市議会議員の方々に構成される議会で決定していくことになります。私たちはご意見や要望を受け付けないと言っているわけではありません。今後も保護者のみなさんはじめ、学校関係者や地域の方々のご意見を聞いていこうと思っています。

吹田市長が、「跡地はコミセンを考えている」と発言しましたが？

北野 もともと地域からコミセンという要望がありました。そんな中で地域代表の方々から「跡地はどうなるの？」と聞かれれば、北千里小学校の問題が解決したら、という仮定の話の中で、「コミセンも考えたい」と答えますよ。市長は政治家ですから。



ガラビ壕、学童疎開船「津島丸」 沖縄戦の実情を知ってもらわな

1954年、高校3年の時に那覇から大阪へ。出版活動と平行して、93年から沖縄平和観光センターを設立。74年から青山台に在住。

ま え だ よ し か つ
真 栄 田 義 且 さん

47年10月、沖縄に戻った真栄田さんは、国際通で島袋さんのお母さんと出会った。

島袋全二郎さんが乗っていた。
出港した。8月22日午後10時ごろ、鹿兒島・悪石島沖で米潜水艦ボイフィン号の魚雷を受けて沈没した。対馬丸には、真栄田さんが毎日のように遊んでいた。47年10月、沖縄に戻った真栄田さんは、国際通で島袋さんのお母さんと出会った。

「軍に協力した」だ。国から見舞金や恩給が出て、靖国神社に祀られる。対馬丸の学童の遺族には一時金が支給されたが、本土の軍需工場に徴用された徴用工の場合は、国との関係が希薄として何の補償もない。そうした犠牲者の方が多い。こうした事情から、遺族が名乗りを上げられないのだ。

遺族会の要望で97年、対馬丸の船体が発見されたが、引き上げは不可能とされた。その代わりに、全額国庫補助で対馬

沖縄戦の戦跡や米軍基地を案内する平和ツアーを企画し、ガイドを務めている真栄田義且さん(69)は吹田市青山台Ⅱと知り合って、10年以上になる。折に触れて取材させてもらってきたが、改めて沖縄と向き合ってきた半生を聞いた。

真栄田さんは1954年、高校3年の時に那覇から大阪へ引っ越してきた。理由は「食うていけんから」。転校の日が雨で、「みんなハイカラな雨靴なのに、おれは長靴」だったのを覚えている。

その当時、沖縄では米軍がブルドーザーで土地を強制収用し、農民が抗議のデモ行進するなど、騒然としていた。真栄田さんも那覇高校の同級生とサークルを作り、復帰問題を論じ合っていた。大阪でも高校卒業後、印刷会社に勤めながら、沖縄県人をつくる「沖縄の土地を守る会」に入り、あちこちと呼ばれて

沖縄の話をして回った。

そんな真栄田さんが、さらに目を見開ききっかけになったのが、78年の印刷会社労組の沖縄ツアーだった。安仁屋政昭・沖縄国際大教授が主宰する「沖縄戦を考える会」のメンバーの案内で、沖縄戦の戦跡を見て回った。野戦病院の分院で、白梅学

徒隊(県立第二高等女学校の女学生たち)が配備されていたガラビ壕では、重傷者数百人が胃酸カリで処置された。米軍基地も初めて回った。

摩文仁の丘には、沖縄守備軍の第32軍司令官、牛島中将の写真が飾られ、バスターグイドは戦跡を軍国美談調で案内する、そんな時代だった。それまでの沖縄



戦の記述は軍中心だったが、「住民の視点で考えよう」という姿勢が新鮮だった。なにより、沖縄で生まれながら知らないことが多かった。よみがえってきたのは、少年時代の記憶だった。

44年8月、真栄田さん一家は山口県に疎開した。前

月に閣議決定で、老幼婦女子10万人を疎開させる命令が出たからだ。国民学校3年の真栄田さんは遠足気分分で、船中を兄と探検して回っていたが、近海は米潜水艦が出没し、制海権が既に米軍に握られていた。真栄田さんらを乗せた軍用船「進丸」が出港して10日ほど後、学童疎開船「対馬丸」が学童790人を乗せて那覇港を出港した。8月22日午後10時ごろ、鹿兒島・悪石島沖で米潜水艦ボイフィン号の魚雷を受けて沈没した。対馬丸には、真栄田さんが毎日のように遊んでいた。47年10月、沖縄に戻った真栄田さんは、国際通で島袋さんのお母さんと出会った。

いきなり抱き、号泣した。疎開船の沈没は、軍機として厳しい箱口令が敷かれ、戦後もおっぴらに口にはできなかった。当時は死は遠いものだった。「対馬丸に乗らんでよかったなあ」くらいにしか思わなかったが、齢を重ね、戦跡をたどってみて、対馬丸の学童は、なぜ死なねばならなかったのか、に思いをはせた。「軍の食糧確保のための犠牲だった。足手まといになる老幼婦女子は排除されたわけです」。沖縄県の疎開命令の文書には「食料事情のため」と明記されている。

「沖縄に戦争が来るなんて、県民には知らされていなかった。指導者は知っていたんですよ。米潜水艦がうようよとして、疎開船が沈められて死ぬかもしれないことを。未必の故意です」



劣化ウラン弾?がん患者 イサーラちゃんを救おう

写真の少女は、イサーラといっ
てる歳である。私はこの5月にヨ
ルダン・アンマンに行き、この写真
で彼女のヒザを取り、母親ととも

に訪日させようと考えている。
彼女は今、イラクの首都バグダッ
ドから東へ15キロのアルフェイニ
ーヤといふ貧しい町に住んでいる。

アメリカ軍が大
量に使用した劣
化ウラン弾によっ
て皮膚がんになっ
てしまったようだ。
この母子を発見し
たのは、私の友人
でジャーナリスト
のイサーム・ラシ
ード。彼は最新の

メールで以下のように告発する。
「誰かがイサーラの顔に触れる
と、その皮膚がらすくに出血が始
まるのだ。」「お母さん、私の顔は
どうして変なの?お姉ちゃんど
うして変なの?」と、たずねる
イサーラに対して、母はどう答え
ていいのか分からず、泣き続けて
いる。母は「この子に十分な治療
を受けさせてやってください。そ
して援助を。貧しい家庭なので
食べるものにも事欠く状態なの
です」と訴えた。泣き続ける母の
もとで、私は悲しい気持ちで二杯
だった。

イラクは今「内戦状態」である。
アメリカ軍の空爆、頻発する自爆
テロ、そしてシーア派とスンニ派
のにらみ合い…。このような状態
の中で、人々は劣化ウラン弾によ
ると思われるがん患者を救出す
ることができない。ちよつと、大
阪大空襲で逃げ惑う人々が、障
害児のことにかまっておられなか
ったように…。



アメリカの戦争犯罪は、大きく、
そして残酷だ

丸記念館が那覇市に開設された。真栄田
さんは「記念館を見ても、学童たちがな
ぜ死なねばならなかったか、わからない」
と言う。
海軍少年飛行兵に志願し、湖南丸に乗
船して本土に試験を受けに行く途中の兄
義一さんも、44年12月、米潜水艦の魚雷
攻撃で死亡した。真栄田さんも加入する
遺族会は、補償や遺骨の収拾を国に要望
しているが、未だ実現していない。

「沖縄戦跡を見て回ってショックを受
けた真栄田さんは、「沖縄戦の実情を知
ってもらわないかん」と、安仁屋教授と
協力して85年、「沖縄の戦跡と軍事基地」
を、95年には「平和のためのガイドブッ
ク 沖縄」を出版した。若者に読んでほ
しいと、カラー刷りにした。
出版と並行して、93年から「沖縄平和
観光センター」(大正区)を設立し、平
和ツアーを始めた。労組や団体を中心に、
年間約1000人を案内してきた。沖縄
戦で犠牲になった女学生はひめゆりだ
けではない。白梅学徒隊を慰霊する「白
梅の塔」は観光コースに入っているが、
「かわいそうと思うだけ。女子学徒を死

に追いやった真相を知らねば」。住民が
遺骨を集めて摩文仁に建てた「魂魂の塔」
には、3万5000体の遺骨が眠る。だ
が、観光ツアーは素通りしていく。「遺
族会や戦友会が建てた慰霊碑をいくら
拜んでも、魂がないんやから」と怒りす
ら覚える。
労組や教師ら先進的と思われる人
たちが、平和ツアーで「沖縄を知って
つもりだったが、何もわかってなかった」
と感想を寄せる。「沖縄は遊びに行く所
じゃない」との意見もあるが、真栄田さ
んはそうは思わない。どんな観光に

行ってほしいのだ。「基地に依存しない
沖縄の自立経済は、観光なしに成り立
たない。遊びに来た人でも、戦跡を回る
うという気になる。沖縄を聖地みたい
に描いてはダメ」
百聞は一見に如かず、と言うが、「百
聞の上になお一見を」をモットーに、真
栄田さんは平和ガイドを続ける。

平和ツアーの申し込みは、
沖縄ツーリスト
(06・6551・0329)へ

支援のあて先…イラクの子どもを救う会

「イラクの子どもを救う会」事務局は
TEL・FAX 06-6192-7033。
三井住友銀行吹田支店 普通口座3712329
口座名義「イラクの子どもを救う会 西谷文和」
▽郵便振込 口座番号00970-5-222501
口座名義「イラクの子どもを救う会」

西谷文和

戦火に散ったアスリート ②

吹田・関西大学陸上部

短距離・谷口陸生 やり投げ・長尾三郎

フィギュアスケートの高橋大輔選手がトリノ五輪で入賞したとき、「吹田の大学生が世界の8位になったか」と感慨深いものがあった。かつて関西大学にはオリンピック選手を輩出した黄金期があった。特に陸上部は、1936（昭和11）年のベルリン五輪に6人も派遣。そのうち短距離の谷口陸生とやり投げの長尾三郎が戦死を遂げている。筆者はこの事実を知らなかった。己の無知を戒めるためにも、両選手の短くも輝かしい人生をたどることにした。

フリーライター・吉岡雅史



ベルリン五輪公式ポスター



左から古田、戸上、福田、谷口の各選手

五輪で聖火リレーが採用されたのは、今から70年前のベルリン夏季五輪から。ヒトラーの開会宣言で始まった大会に、日本の陸上男子は総勢40選手が出場。日独両国の関係から、日本選手団への歓声はひととき大きかった。そこには、谷口と長尾に福田時雄（400メートル障害）、戸上研之（走幅跳び）、古田康治（110メートル障害）、そして選手団主将で前のロス五輪三段跳び銅メダリス

ト・大島鎌吉の関大6選手の晴れ姿があった。

昭和初期といえば、職業野球が旗揚げしたばかりで、スポーツ界の花形は大学野球と陸上競技だった。中でも織田幹雄、南部忠平、田島正人、そして大島らの跳躍陣は世界トップクラス。短距離走は「暁の超特急」吉岡隆徳と谷口の2枚看板が世界に挑んだ。

谷口 若鹿思わせる 天才肌のスプリンター

谷口は1913（大正2）年、熊本生まれ。中学時代から俊足ぶりは全国に轟いていた。中央大学の受験に向かう途中、三ノ宮から列車に乗り込んできた関大マネジャーらに説得され、大阪で下車した。

母子家庭で育ったため、運送会社でアルバイトをして学費を稼いだ。必然的に練習時間は制約されるわけだが、ハンデをもつともしない天才肌のスプリンターだった。34（昭和9）年には200メートル直走路21



谷口陸生選手、34年走を直走200メートル直走路21秒2の日本記録を樹立

秒2の日本記録を樹立した。

同郷でもある戸上の談話が「関西大学百年史」に掲載されているので抜粋する。

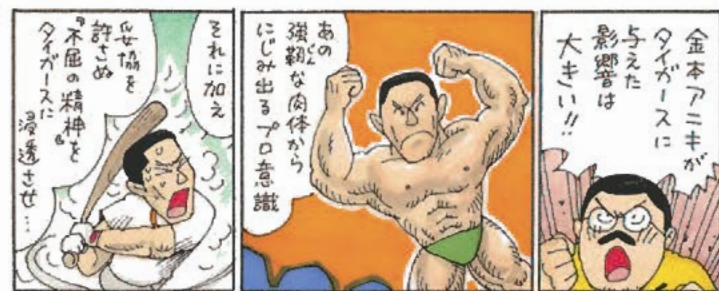
「体格はブロンズ像そのものの如く軽快、若鹿を思わせる半面、心臓は象のものを盗んできたのではないかと疑われた。（中略）ロサンゼルスオリンピック大阪予選の決勝で、昼寝をされていてスタートに間に合わず、日本代表のチャンスを失ったことがあがるが、彼らしい失策である」

長尾 やり投げ一日千回 日本記録もマーク

かたや長尾は1910（明治43）年、大阪市で生まれた。実家は「回春堂」という当時有名な薬店。7人兄弟の次男坊で、谷口とは対照的な「浪速のボンボン」である。超高級バイク、ハーレーを乗り回す私生活とは裏腹に、やり投げへの努力は惜しまなかった。

関大予科から法文学部へ進学した32年、ロサンゼルス五輪に出場するも実力を出し切れず13人中10位。ここから一層厳しい鍛錬に取り組み。競技に使うやりの重さは約800メートル。これに銅線を巻きつけ3倍の重量にして、1000回投げるのが日課となった。そして2年後、68

ベルリン夏季五輪 関大6選手の晴れ姿



長尾三郎選手。予想以上にやりが飛び、「グラウンドにあったラグビーボールに突き刺さった」ことも。

メートル59の日本記録をマークした。その数日前、予想以上にやりが飛び、「グラウンドにあったラグビーボールに突き刺さった」と後輩の戸上が述懐している。これが陸上競技連盟の資料には「ラグビーのボールに刺さった」と記載されていて笑えるが、いずれにせよ、敗戦を糧に更に飛躍を遂げたのは間違いない。

渡欧には船で40日費やすか、シベリア鉄道経由で1カ月近くかけるしか移動手段がなかった時代。一向は、列車が停車するたびに線路脇に降りては練習を繰り返し、ベルリンを目指した。長旅の途中で長尾は発熱し、競技を棄権せざるを得なくなる。ま

五輪選手でも令状一枚で運命スタスタ

た、谷口は200メートル走の2次予選敗退。銀のタイムが21秒1、銅は21秒3だったから、表彰台も夢ではなかったのである。

ベルリン五輪の翌年に日中戦争が勃発し、第2次世界大戦へと戦火は拡大した。現代の韓国青年なら兵役免除の可能性もあるが、当時の日本では、五輪選手といえど召集令状一枚で運命を翻弄された。谷口は中支戦線で腹部に銃弾を受けながら、なおも果敢に突撃して敵

陣を攻略。長期入院のち、さらに南へ転戦中、敵艦主砲の直撃弾を浴びて跡形も無く吹き飛ばされてしまふ。1万5000人の部隊が壊滅的な打撃を受けたノモンハン事件から奇跡的に生還した長尾も、再応召でニューギニア方面への長征中に帰らぬ人となった。ともに43(昭和18)年。谷口30歳、長尾33歳だった。一旦復員した長尾が千里山グラウンドに顔を出し「懐かしいなあ、もう1度」とこぼしている。戦争さえなければ、まさにその年、東京でオリンピックが開催されるはずだった。(写真は関西大学のHP及び「関西大学百年史」からの掲載)

国の押し付け「反対が87%」

「やったー！投票率が50%を超えたぞ」。
3月12日(日)午後4時、山口県岩国市は喜びの声に包まれていた。米軍基地拡張の問題に対して、住民投票が行われ、その投票率が50%を超えたので、開票されることになったからだ。開票結果は基地拡張に反対が87.4%、賛成はわずか10.8%だった。

岩国市の住民投票は市長が発議したもの。「岩国市にとって大変重要な問題。こんな重大な問題こそ、市民に聞いてみなければいけないと思った。だから住民

投票を実施したのです」とは伊原勝介岩国市長。住民投票の告示日3月5日に「市長緊急声明」が発表されている。それには「市民の意思はすべてに優先します。私は住民投票の結果を尊重し、誠意を持って国と交渉する」ことを誓います」とある。

いうまでもなく、市長は市民に選ばれた存在。国が決めたわけでも、まして米軍が任命したでもない。「自分を選んでくれた市民の声を聞く」という自然な方法それが住民投票だった。

沖縄の嘉手納を上回り、東洋一の基地となる岩国

米軍基地周辺の町を歩く。戦闘機が離陸準備に入っている。ゴーという爆音。会話が途絶え、テレビの音がかき消される。米軍宿舎から二本道が延びている。周囲にはロシア人ハブ、フィリピンシヨールなどの看板。英語と日本語で「駐車禁止」の張り紙。停まっている車は米兵が運転する「Yナンバー」だ。クリーニング屋さんや八百屋さんに聞いて回る。

「昔は米兵が下着を出してくれたり、背広をクリーニングしたり、繁盛したと

きもあった。今はダメだね。全部基地の中でできるもの。フィリピンハブ？あそこも苦しいよ。最近の米兵は、広島まで遊びに行くからね。地元には金は落ちない」。

昼は喫茶店、夜はバーになる店がある。マスターに聞く。

「私のごころにもほとんど米兵は来ないよ。地元の間人はかり。この街で生まれ育ったから基地があるのは当たり前だと思ってる。昔はにぎやかだったね。米兵相手のコールガールが川筋に立って客引きをしていたよ。親父からは「あっちへ行くな」と注意されていたね。」

「ここは広島から流れてきた被爆者が多い。被爆者たちは人生に悲観し、「あと少ししか生きられないから」と米兵相手の商売に精を出していたんだ。岩国市役所に売店があったら？あそこは昔の保健所だ。性病の検査をしていたんだよ」

拡張予定の基地へ。広大な敷地。海を埋め立ててさらに新滑走路が建設されている。この基地拡張工事をめくって防衛庁の官製談合や天下りがあったことは記憶に新しい。神奈川県厚木基地から艦載機がやってくると、ここは沖縄の嘉手納を上回り、東洋一の基地となる。

市民の声を国に伝えるのが市長の役目

住民投票を終えたばかりの井原市長

を直撃。

国や山口県などの圧力があつたと思いますが、それでもあえて住民投票を実施されたのはどうしてですか？

「私のモットーは「難しい問題が出てきたときは、自然な状態で考える」ということです。基地拡張は岩国市にとって非常に難しい問題。こんな時は住民の意見を直接聞くことと思い、住民投票を実施しました。そこで出た市民の声を国に伝えるのが私の役目です」

吹田市でも住民投票が行われようとしていますが。吹田市長は「反対のための反対者とは会わない」などという住民投票に否定的です。

「住民の中にはさまざまな意見があります。反対の人とも賛成の人とも合ってじっくり話を聞く。それが私のやり方です」。

投票率を50%に届かせないよって、「住民投票ポイコット運動」もありましたね。



「住民投票に行こう」と訴える岩国のみなさん



移設工事が行われている岩国飛行場、本年2月現在。(平成17年度「防衛白書」HPより)





▲4万筆の署名を吹田市助役に手渡す



◀吹田市の住民投票についてマスコミ各社が取材に来ました

「住民投票に反対の人は、何かに恐れているのでしょうか？国から何が言われるとか…。こんな大切な問題こそ、憶測や恐れをいったん捨てて、市民の意思を聞くことが必要だったのです。意見が分かれていれば、それを踏まえて国に対して公正な市民の意思を伝えればよいのです」
一方、わが吹田市では？梅田貨物駅の吹田移転の是非を問う住民投票に関して、1月末から2月にかけて取り組まれた署名は4万筆を超えた。3月中にこの署名が審査され、順当に行けば4月に開催される吹田市臨時議会で、この「住民投票条例案」が採決される。吹田市の市議会議員は36名。つまり18名以上の賛成があれば吹田市として初めての住民投票となるが、否決されれば「勝手に決められたまま」となる。今年開港した



吹田市 阪口市長

市としての最終決定を報告した市議会全員協議会は、市民に非公開。ほとんどの議員は合意文書に対して「沈黙」。つまり「議会の意思」は示されていない。これでどうして「議会と市民の意思が離れているとは思わない」と言

一方、わが町吹田はどうだろうか？以下、阪口市長の「語録」。
阪口市長 「反対のための反対者とは会わない」(毎日新聞より)
市長という全ての市民の代表という立場にありながら、一部の人のためだけに吹田市を運営されるのか？
阪口市長 「議会と市民の意思が離れているとは思わない」(関西TVインタビューより)

吹田は30万筆以上の署名を添えて神戸市議会にかけられたが、当時の議員

吹田は”どっち” “岩国or神戸” 市民の意思は全てに優先



岩国市 井原市長

の多くが住民投票に反対し、結局神戸市民の意思を問うことなく、空港が作られてしまった。「関空、伊丹があるのに、なんで3つも空港があるの？」「空港に市税をつぎ込むより、震災被災者の生活に充てて」などの悲憤な叫びが無視された。

切れるのか？
阪口市長 「私はサイレントマジョリティー(物言わない多数派)が支持している」(毎日新聞より)
どうして「支持している」と言い切れるのか？4万人もの署名協力者こそ「マジョリティー」ではないのか？
阪口市長 「関係者との経緯があるので、(受入れを)決定した」(吹田市議会全員協議会より)
多くの市民の声よりも、大阪府やJRの方が大事なのだ。

さて吹田はどっちの道を選ぶのだからか？たとえ相手が国や米軍であっても、住民投票を実施し、「白紙撤回」が視野に入り出した岩国市と、採算の取れそうもない空港を作ってしまった神戸市と。キーワードは岩国市長がすでに述べている。「市民の意思は全てに優先する」ということだ。

読者の声

●突然のお手紙、失礼をお許し下さい。私は、島根県の田舎から一昨年吹田市に転居してきた82歳の老人でございます。

昨日(3月18日)は「すいた市民しんぶん」発刊号をいただきまして有り難うございました。その初めの「平和、憲法九条大いに語る」の座談会を拝読して感銘を受けました。そして私の想いと一致していることを喜びました。同感でございます。貴会のご発展とご活躍をお祈りいたします。古江台在住 児玉哲郎

●吹田市民しんぶんVOLUME1拝読いたしました。トップ記事に「阪急京都線相川駅は、かつて東吹田駅と呼ばれていました」と書かれておりますが、これは誤りです。昭和3年(1928)新京阪鉄道京都線が淡路〜高槻間で営業運転を開始した時に「吹田町駅」として設置。昭和18年(1943)「吹田東口駅」と改称。昭和29年5月1日(1954)「相川駅」と改称し、現在に至る。これが正解だと思えます。

千里山在住 匿名希望
★ご指摘のとおり、相川駅は「吹田東口駅」という名前でしたかね。お詫びして訂正いたします。(編集部)

うめかも 移転問題

市会議員のみなさん条例を可決して下さい

住民投票で決めよう



4月3日、吹田メイシアターで住民投票を実現させる吹田市民大集會が開催された。600名を超える参加者で会場は満杯、立ち見も出るほどだった。この「うめかも問題」は、市長が2月10日に勝手に「移転合意」し、その模様をテレビ、新聞で大きく報道されたため、現

住民投票実現を求める市民大集會が開催された



在の吹田市において最も注目を集める問題の二つになった。講演に立った増田京子（質面市議（無所属））は、「市民にとつて大事な問題は、住民投票で決めるのが当然の方法」「議會で全て決められるわけではない。むしろ直接民主主義、つまり住民投票の結果が優先されるべき」と語った。

集會での申し合わせとして、①36名の市議會議員へ「公開質問状」を送り、住民投票に賛成、反対を問い、その結果を広く伝える。②多くの市民が市議會を傍聴し、市會議員にエールを送る③4月26日（水）に結果が出るので、午後7時から吹田市民會館で報告集會を行う。ことが確認された。

参加者からは、「市議會議員にこの集會の模様を伝えたい。これだけ

これからどうなる...

4月の臨時市議會で採択



可決

住民投票実施で市民の声を聞く



岩田では米軍基地拡張について「白紙撤回」が言われ出した

否決

吹田貨物駅と公害がやってくる



住民投票は否決され、神戸では空港が建設されてしまった



の有権者の声を無視できないはず」「これから最後の山場。何としても住民投票の実現を」などの感想が寄せられた。

いま、住民の声を聞くのがあたりまえ

編集後記

▼詩人 芥木のり子さん近く。「自分の感受性くらい、自分で守れ。ばかものよ」「自分の感受性くらい」より。ワンフリーズ首相、「世論」代表のマスコミ、あやしい占師や霊能師らが跋扈する今、脳天への鋭い撃。(い)

▼アッサラーム・アライクム。アラビア語の「こんにちは」は、「あなたの方の上に平和がありますように」。アン・ヨシハセヨ、ニイハオ、ジャンボ...。色んな国のあいさつで色んな人と仲良くなりたいたいと感じた座談会でした。(F)

▼ここ数年、自己破産件数は10万件を超え、予備軍は100万人とも150万人とも言われています。小泉内閣の悪政のつけが庶民を苦しめている。1人で悩まず、「さざなみの会」へご相談を。(J)

▼駅前を行き交う人びとのくらしや鳥つかいが伝わる高宮良子さんの表紙の絵に「なつかしい感じがするわ」「気持ちがあなごむね」と何人かの方から、声をかけていただきました。吹田にある駅すべてを描ききった時には、このまに欠かせない新聞になっているでしょうか。(て)